

第 70 回定期総会 櫻井会長あいさつ

本日ここに、全国町村議会議長会第 70 回定期総会を開催いたしましたところ、鈴木総務副大臣、江田衆議院総務委員長、秋野参議院総務委員長並びに荒木全国町村会長におかれましては、公務きわめてご多忙の折にもかかわりませず、ご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、都道府県会長並びに事務局各位には、遠路、揃ってご出席いただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年末に決着した「平成 31 年度地方財政対策」は、地方税が増収となる中で、一般財源総額及び地方交付税総額とも前年度を上回る水準が確保されるとともに、臨時財政対策債の抑制といった地方財政の健全化が図られました。とはいえ、地方にはまだ巨額の財源が不足しておりますので、地方交付税の法定率の引き上げを念頭に、特例措置に依存しない持続可能な制度を確立していただきたいと存じます。

一方、地方創生関係予算につきましては、平成 30 年度第二次補正予算で「地方創生拠点整備交付金」を措置した上で、「まち・ひと・しごと創生事業費」及び「地方創生推進交付金」を前年度同様に確保していただきましたことは、地方の意見を取り入れていただいたものであり、現行の「地方版総合戦略」の総仕上げにかかる地方にとって心強い予算となりましたことに安堵しております。

石田総務大臣、鈴木総務副大臣をはじめ、地方財政・地方創生関連予算の確保に奔走していただきました関係者の皆様のご尽力に御礼申し上げます。

さて、本日の総会では、議事に先立ち、表彰式を挙行いたします。

自治功労者表彰を受けられる皆様は、永年の議会活動等を通じて地方自治の振興発展に顕著なご功績があった方々であり、また、町村議会表彰並びに町村議会広報表彰を受けられる議会は、全国の町村議会の模範となる活動が評価された団体であります。

本会の歴史が積み重ねられておりますのは、一人ひとりの議員、一つひとつの議会の地道な活動の賜物でございますので、被表彰者の皆様に改めまして謝意を表しますとともに、心からお祝いを申し上げます。

皆様ご案内のとおり、本年、全国町村議会議長会は創立 70 周年を迎えます。

戦後まもない混乱期に、住民に最も身近な町村の二元代表制の一翼を担う議会議長の連合組織として産声をあげた本会は、戦後復興、高度経済成長、バブル経済と焦土から世界有数の経済大国となった日本の成長を地方から支えて参りました。

平成となってからは、バブル崩壊、金融危機といった経済の低迷期を経験し、少子高齢化といった社会的背景も相俟って、財政基盤の脆弱な町村ではその舵取りに困難を極めながらも、さらには、多くの町村にあっては平成の大合併といった大きな荒波に揉まれながらも、住民の要請に応えるべく、地域社会の振興発展、地方議会制度の充実などの多くの課題に対し成果を挙げてきたところであります。

奇しくも本年は、天皇陛下が御退位され、皇太子殿下が御即位される時代の転換期にあたり、「平成」という時代からその次の時代へとバトンが引き継がれますが、この節目の年に改めて、昭和と平成に跨る 70 年間にわたり本会の礎を築いていただいた諸先輩方の功績に深く敬意を表しますとともに、来る新時代においても、全国町村議会議長会が全国 926 町村議会の先頭に立って、住民のニーズに合った町村議会像を創っていくことをここにお誓い申し上げます。

御来賓各位におかれましては、これまでと同様に本会の活動にご理解いただき、格別なるご支援を賜りますようお願い申し上げ、定期総会開催にあたってのご挨拶といたします。

平成 31 年 2 月 6 日

全国町村議会議長会会長 櫻井 正 人